

柵の木からの手紙

2018年 1月号



昨年12月25日。クリスマス低気圧の影響で、常に真冬の気温がプラスになり、雨降りの半日。気温上昇で雪融けが進み庭は水浸し。排水路を切って排水作業。翌朝も暖かく腐れ雪の排泄作業。その夕方には発達した低気圧が寒さを伴った強風を送り込んできた。美幌では吹雪にはならなかったですが、北海道の日本海側や北部では数日間大変な事になっている。この天候で、畑の雪も大分少なくなり、土が見え始めています。12月5日の根雪で土の凍結が殆ど無いので、

土壌凍結には、好都合かもしれませんが。ただ、米糠を雪上に散布した農家にとっては、不都合かもしれません。私も前回までは、雪上散布を心掛けていましたが、この冬は楽をして殆ど土の上に醗酵鶏糞や米糠を散布して浅く土にすき込みました。

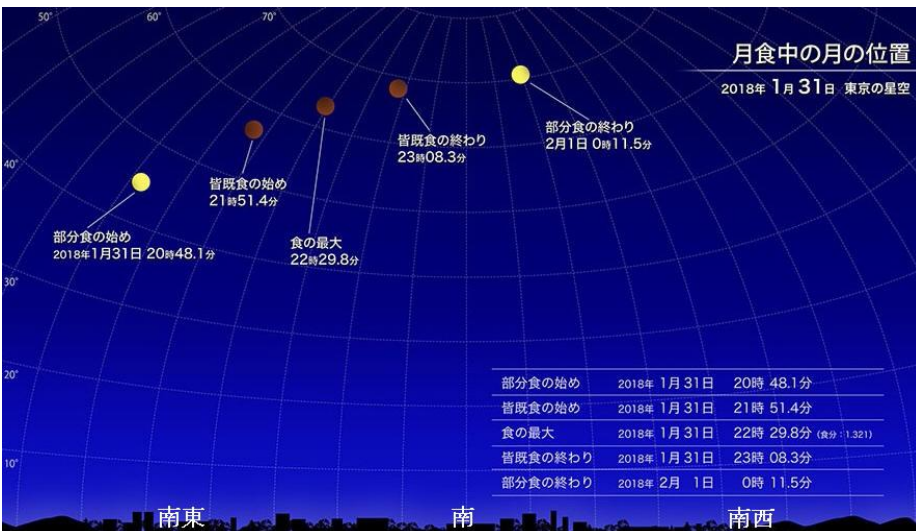
- 2日： 満月 旧11月15日
- 5日： 小寒
- 17日： 新月 旧12月1日
- 20日： 大寒
- 31日： 満月 旧12月15日

1月 睦月						
日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

皆既月食21時50分頃～0時10分頃まで 食の最大は22時30分頃

隣家の米糠を雪上散布した畑の様子。当初、私も良い時期に散布したと感心していましたが、強風の吹き荒れる数日。こうなって見ると良かったのか悪かったのか？

1月31日夜に皆既月食があります。自然界の摂理の一つに偶然にも遭遇する訳ですが、移り行く月の形、月の色の変化の神秘に私たちの無力さを厳かに感じさせられる事では



よう。
自分の無力さを受け入れたら、謙虚になれば良い。

是非、子ども達に見せてあげて下さい。

冬とは言え1年がスタートしました。自然界に関わって生活する農家としては、自然界を受け入れて、活かして行く事が自分たちも活かされる事に繋がる気がしています。

【 きたあかり 出荷量 経年変化】

2008年から私が畑の管理を始め、当時は出荷量の少なさに悩んでいた訳ですが、お恥ずかしながら昨年は、最低の出荷量を記録しました。

2000年から現在の畑で自然農法が始まり、殆ど芋ばかり作付けしていますが、きたあかりは、2004と2008から2017年に生産されていてその出荷量の推移が下のグラフです。数字は反当たりの出荷量に置き換えています。2004・2008から2011年は、収穫物を大コン

自然農法 **きたあかり 反出荷量** 経年変化

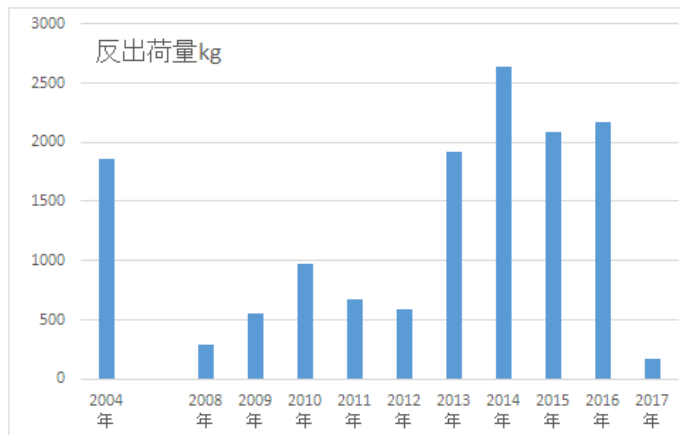
出荷していますので、比較対象の反当たりの出荷量としては、グラフの値より少ない値になります。

2013年から反出荷量が増えた理由は、

- ・有機質資材の冬期散布
- ・有機質資材の分散散布
- ・無防除の実施
- ・不耕起栽培
- ・複数品種の選定
- ・雑草が多くなった
- ・緩衝作物にひまわり

等が挙げられますが、どれ

出荷	年	反出荷量kg
大 コ ン 一 括	2004年	1860
	2008年	285
	2009年	555
	2010年	974
個 選 箱 詰 め	2011年	667
	2012年	582
	2013年	1912
	2014年	2640
	2015年	2084
	2016年	2175
	2017年	167
	2018年	



・
醗酵
鶏糞
冬期
散布

自然農法農産物 出荷量推移

作物名	反当たりの 出荷量kg							
	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年
とうや		425	653	924	1,790	2,014	230	有肥 240 無肥 115
北あかり		667	582	1,912	2,640	2,084	2,175	167
さやあかね 転換		1,222	501	1,681	1,130 650	3,324	2,305	193
ノーザン・ルビー	-	-	220	534	987	514	485	150
シャドー・クイーン	-	-	-	188	377	434	315	25
黒大豆				0	61	150	91	0

が効果あったのかわかりません。ただ、今まで行っていなかった事を実施しただけです。

【 作物別出荷量推移 】

昨年は、自然農法畑で生産する全ての作物の出荷量が少なくなっています。その表が左の表です。

悪い中でも、早生系の「とうや」、耐疫病性の「さやあかね」は、出荷量の上位にあります。

【 無肥料栽培 「とうや」 】

植物質堆肥や資材を使った栽培を無肥料栽培と規程し動物質堆肥や資材を使った栽培とどの位の差が出るのか？

無肥料栽培では、

- ・S小玉が有肥栽培の1.4倍位多い。
- ・外品は同程度
- ・出荷量は有肥栽培の半分
- ・有肥料栽培でも
- ・慣行農法の1/3程の出荷量

肥料の有無による 出荷量の違い とうや

肥料有り

肥料無し

動物質資材は、肥料有り
おーい北海道農場物語
醗酵鶏糞ベレット

植物質資材は、肥料無し
粒状米糠

出荷量 600kg 240kg/反

外品 160kg
S小玉 180kg 全体376kg/反

出荷量 380kg 115kg/反

外品 140kg
S小玉 260kg 全体336kg/反



7月 20日 有肥



7月 20日 無肥

今年の土壌分析

2018年 1月号

食べ物の栄養価を気にする様に、農家の人は、土の成分を気にしている。

下の表は、今年の初め（2016年の値）と今年の収穫後（2017年の値）の土壌分析値。

☆ 作付記録

2018年 H30												
2017年 H29	ひまわり	きたあかり	ノーザンルビー	シャドークイーン	とうや	黒大豆	さやあかね	とうや				
2016年 H28	ひまわり	メークイン	シャドークイーン	ノーザンルビー	とうや	きたあかり	さやあかね	小麦	黒大豆			

☆ 土壌分析結果

		pH	EC	リン酸	カリ	苦土	石灰	リン酸吸収係数	苦土・カリ比	石灰・苦土比	リン酸・苦土比	CEC	塩基飽和度
基準値		5.5-6.5		10.0-30.0	15.0-30.0	25-45	200-300	700-1500	2.0-7.0	3.0-7.0			
採集日													
2017年	10月30日 慣行住商アグリ農法	5.54	0.09	44.6	72.2	29.9	215	769	1	5.2		19	
2017年	10月30日 有肥	5.89	0.04	56.4	84.8	32.7	177	1066	0.9	3.9		24.5	
	住商アグリ 無肥	5.73	0.07	37.8	84.2	26	177	1137	0.7	4.9		20.7	
2016年	10月31日 有肥	6.21	0.06	36.3	76.6	38.2	272	1220	1.2	5.1		20.6	64
	住商アグリ 無肥	6.31	0.04	26.5	69.5	30.5	220	1336	1	5.2		20	54

慣行農法の畑では、石灰質の資材を多用しても化学肥料の成分で土壌の酸性化が進んでしまいます。その為、「pH」が低く（酸性傾向）、「苦土（マグネシウム）」と「石灰（カルシウム）」が不足していて土壌の成分バランスを悪くしている。

今年の極端な出荷量減少は、普及員の方が仰っていた「芋の連作連作で畑が疲弊して、芋が作れない状態になる」と言う事の現れなのだろうか？

【 ビートの遊離土 】

ビートの遊離土、これを堆肥にしたなら植物質堆肥。でも今まで土場に積み上げて草だらけになっている。昨年秋に「草を苦労して取って綺麗にしたから、遊離土を畑に散布してこの場所を空けてくれ。」という方がいた。明らかに、雑草で苦労する事になるから、「それ程に良いものなら何故今まで使わなかったのか？お宅の野菜畑に散布しておきましょうか？」という、「野菜畑には振らなくていい。」という。行き当たりばったりの無計画のお方。

でも、自分の畑から出た遊離土。初めから堆肥にするつもりで管理したら良い植物質堆肥になりそう。早速、この秋に出たビートの遊離土を別の土場に運んで隔離。植物質堆肥であれば、自然農法の畑に散布する事が出来る。毎年出て来る植物質資材（ビートの遊離土）の堆肥化試験を始めました。





ここ数年、次々と手足を奪われる様な思いで美幌会の活動を行って来ました。

そんな会の活動は、農業・自然農法を現実に行われている現場で観て貰う・体験して貰う形に変化して来ている様に感じています。現場に足を運んで貰い、現状を観て貰い、現実に体験してもらう…。その事が参加者のこころとからだの健康に寄与し、健全な地域社会づくりに繋がるひとつの在り方として考えています。

昨年、苦しんで活動した割には結果として下記の様な活動が行われ、それが今年の活動に引き継がれる形になりました。 昨年は、5月に播種体験して頂いた大豆が、ハトのご飯になり大豆を廃耕して緑肥に変更したため、秋の大豆収穫体験がありませんでしたが、今年は、大豆収穫体験を予定しています。

下記の () 内は、昨年の実施日と昨年と似た様な日付で週末の土曜させて頂きます。一人でも多くの方自分たちの生活の在り方について様に皆さんの参加をお待ちしています。



参加人数です。今年に於いては、日、11月は勤労感謝の日を計画に非日常の世界を体験して頂き、考え、こころ豊かな生活に繋がる

そして、主催する側も精いっぱい準備で皆さんを受け入れさせて頂きます。とは言っても、参加者に準備を手伝って頂くくらいの活動が嬉しいかもしれませんね。



【 実施月日 】

【 実施内容 】

- | | | |
|-------------|------------------------|------------|
| 3月 (18日) | 美幌会総会 (9名) | 映画上映 (15名) |
| 4月 (8日) | 家庭菜園セミナー (4名) | |
| 5月 (21日) | ホワイトアスパラ収穫体験 (1名) | |
| (27日) | 大豆 播種体験 (6名) | |
| 6月 (25日) | グリーンアスパラ収穫体験 (1名) | |
| 7月 (22日) | お芋で花見 野草で挿し花 (4名) | |
| 8月 (6日) | 自然農法芋収穫体験 ひまわりの癒し (4名) | |
| 10月 (新規20日) | 大豆 収穫 ニオ積み体験 | |
| 11月 (23日) | 芋の食べ比べ (9名) | |

